

育苗期のいもち病防除を必ず行いましょう!

いもち病対策は育苗期の防除が重要です。

- ・田んぼのいもち病は、苗にいもち病が発生し、それに気づかずに田植えすることで発生します。
- ・育苗期のいもち病防除は、田んぼでの発病を防ぐ第一歩ですから必ず行いましょう。育苗箱施用剤では育苗期に発生するいもち病を防ぐことはできません。



いもち病激発ほ場(8月上旬) 穂いもち被害

育苗期いもち病防除の手順

種 子 消 毒

育 苗 期 い も ち 病 防 除

次のいずれかを選択

ベンレート 水和剤

500倍 500ml/箱
又は 1,000倍 1,000ml/箱
灌注
播種時～播種7日後頃



50リットルの水に、ベンレート水和剤100g・1袋で、育苗箱100枚分ができます。(500倍の場合)



育苗期いもち防除 灌注処理の様子

ビームゾル

500倍 500ml/箱
灌注
緑化始期
(べた張り除去後速やかに)



250リットルの水に、ビームゾル500ml・1本で、育苗箱500枚分ができます。



緑化始期：べた張り除去の様子

本 田 葉 い も ち 防 除

(育苗箱施用剤、側条施用、水面施用剤のいずれかで必ず行う。)

〈注意事項〉

- ビームゾルでは、低温時や極端な高温時(30℃以上)に薬害が生じることがあります。適温管理に努め、健苗育成をこころがけましょう。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。